

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・令和4年度のプランでは、裁縫に関して、技能面で個人差が大きいことが課題で挙げられていた。児童同士の教え合いを取り入れ、実際に目の前で教師が模範を見せることで、作業が遅れる児童が減り、習熟の速度も高まった。また、動画も併用することでいつでも児童が確認できるようになっている。
- ・タブレットを用いた学習や発表を計画することで、意欲的に自分の興味に沿って調べたり、自分でレイアウトを工夫したりしてまとめている姿が見られている。
- ・洗剤を使つての洗濯、清掃活動の実践で、家庭では家の人工夫して行っていることに気付いて、エコや環境、SDGs への関心は高まっている。

(2) 課題

- ・裁縫では、個人差が大きく、繰り返し練習を取り入れたい。時間の確保が課題。
- ・タブレットを用いた調べ学習を取り入れてきた。活用方法を拡張していくことが今後の課題。

2 授業改善のポイント（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課 題	手縫い、ミシンの技能は個人差が大きい。	タブレット端末を活用しながらプレゼンテーション資料を作成し、発表する。	タブレット端末を活用した課題解決学習を導入する。
対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しの練習をさせる。ペア学習を徹底させることで教え合いができるようにする。また、ペアで機能しない場合はトリオ学習を導入する。また、作業の見通しをもって学習に取り組むことができるような教材の用意や提示を工夫する。学習したことを家庭でも実践させる機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに、家庭科で学習したことを自分の家庭生活のどの場面で生かせるかを具体的に考えさせる。ワークシートや家庭科ノートを用いて計画を立てさせる。 ・タブレット端末を使い、グループ内で調べたことを発表する機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習させるために、課題を掲示する。 ・調べ学習に積極的に取り組めるようにするために、学習のめあてがもてるような教材や活動の工夫をしていく。 ・「みつめる」「計画する」「活動する」「生活に生かす」という学習を繰り返すことにより、自分の生活をみつめより良く生活しようとする態度を育てる。